

## 【5月（皐月）行事予定】 月訓『遵法』

1	日		17	火	1 学期中間試験・QU アンケート予備日
2	月	防災訓練（1 限）	18	水	1 学期中間試験
3	火	憲法記念日	19	木	1 学期中間試験
4	水	みどりの日	20	金	1 学期中間試験・進路説明会準備（3 限）
5	木	こどもの日	21	土	進路説明会（3 年保護者対象）
6	金	スタディーサポート（1～3 限、I・II 類）	22	日	
7	土	第 1 回保護者役員会・委員会・受験対策講座②	23	月	身だしなみ指導
8	日		24	火	体力テスト（3 限+昼+3 限）
9	月	前期役員選挙（1 限）・チャレンジ 0 週	25	水	体力テスト（3 限+昼+3 限） 学校安全緊急情報共有化広域ネットワーク活用訓練
10	火	執行部合同会	26	木	体力テスト予備（3 限+昼+3 限）
11	水	内科検診（5～6 限）	27	金	身だしなみ再検査・執行部合同会 尿検査予備日
12	木	尿検査、内科検診（5～6 限）	28	土	
13	金	尿検査、内科検診予備日（5～6 限） 電気基礎認定試験（3 年・E2C）	29	日	第二種電気工事士筆記試験
14	土		30	月	全校朝礼
15	日		31	火	常任委員会
16	月	QU アンケート（1 限）			

## ☆ 夢を実現できるクラスとできないクラスの差

よく、勉強は個人戦と言われます。自分さえがんばったら結果は自ずと出るものです。

しかし、大手進学塾で講師をされ何度も難関大学へ導いた木下晴弘先生は、次のように言います。

「受験勉強は個人戦ではありません。団体戦です。」

『『いじめ』や『仲間はずれ』のあるクラスでは、ボーダーラインの生徒たちが、ことごとく不合格になるんです。

逆に『みんなで頑張ろう！』という雰囲気のあるクラスは、同じボーダーラインの生徒たちが、みんな合格するんです。」



「自分さえ良ければそれでいい」という人は、クラスの中で必要とされているなんて思えないですし、そういう考えでいる自分自身を好きでないものです。

そういう人がいざ本番のとき、自信を持って自分の力を発揮できるかと言われれば、やはり違うのではないのでしょうか。

しかし、「みんなで頑張ろう！」ってクラスは、みんなが「自分はそのクラスの一員だ。みんなで頑張ってきたんだ」って思いが出てくるものです。

そして、その思いが、自分の最高の力を発揮させることができるのかもしれません。

要するに、自分の居場所があるかどうか、というのは大きなことです。

もちろん、これは受験勉強に限ったことではなくて、部活動でも、仕事でも一緒ではないでしょうか。

仲の良いクラス、仲の良いチームは、みんなが最高の力を発揮できるのではないのでしょうか。

お互いに「ありがとう」と言い合えるような雰囲気があれば、お互いを認め合って仲が良いでしょうし、最高の力を発揮できると思います。

だから、周りに、『ありがとう』と言える人がいることは、本当に幸せなことなのでしょう。

## ☆ 雁（がん）の習性

渡り鳥の一種に雁（がん）という鳥がいます。雁のような大型の鳥は、移動するためにV字隊列で移動します。

君たちも見たことがあるのではないのでしょうか。さて、何故雁などの大型の鳥はV字で移動するのでしょうか。

それは、先頭の一羽の雁がはばたくと、すぐ後ろに上昇気流（上向きの風）が起こります。

このために、その気流に乗って、後に続けば楽して飛ぶことができます。知ってましたか？

ちなみに、V字形の群れで飛ぶことによって、一羽一羽ばらばらで飛ぶよりも飛行距離が71%以上伸びるそうです。

しかし、先頭の雁は常に風にあおられるため、疲れてしまいます。さて、どうするのでしょうか？

もし、先頭の雁が向かい風にあおられて疲れてきたら、隊列の後ろに回り、それまで後ろについていた雁が交代して先頭を飛びます。そして、雁は、お互いに仲間が疲れないように、鳴声を上げて（コミュニケーションを取って）励ましあいながら飛びます。

また、群れのなかの一羽が病気になったり怪我をして隊列を離れたりした場合には、別の元気な2羽もいっしょに隊列を離れ、傷ついた雁を守り、回復するまで付き添います。

私たちに置き換えて考えてみると、同じ目標と連帯意識で結ばれた仲間が同じ方向を目指せば、お互いの推力が働いて、より早く簡単に目的を達成できます。リーダーは一人では疲れてしまうため、お互いに声を掛け合い、励ましあいながら交代したり、協力し合ったりすればお互いが成長し合うことができます。

また、仲間が助けを必要としているときは、暖かく寄り添って支えてあげることも大切であることも雁は教えてくれているのではないのでしょうか。



## 【今年度は「時事王」】

湯船につかるときに、中に入っているお湯が熱いかどうか手を入れて確かめて、とても入れないと思えば水を入れ、ぬるいなと感じれば、もう少しお湯を沸かす。自分にとって最適な温度で入浴しようとしています。

2年後に君たちは三河高校を卒業し新たな社会に飛び込んでいきます。その時にどんな社会に入っていくのかをあらかじめ知っておく必要があり、得た知識を活かせる人間になっていなければいけません。残り2年でその準備を完了させる必要がありますが、君たちには圧倒的にまずその知識が足りないのが現状です。

今年度はそのための「時事王」。社会でおきている事象をまず知識として獲得する。それに対してどう思うか、どうしなければいけないかは、知識量がなければ考えることも対処方法もわかりません。1年かけてその知識量を上げていきましょう。試験は基本的に毎月実施します。お互いに時事問題が話題出るようになれば、幸いです。

(柳瀬)